

## 総務政策委員協議会記録

開会年月日	令和2年6月29日
開会時刻	午前10時06分
閉会時刻	午前10時17分
出席委員名	◎鈴木豊司    ○楠木宏彦    久保 真    井村貴志
	岡田善行    品川幸久    藤原清史    西山則夫
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	なし
担当書記	中野 諭
協議案件	令和3年度職員採用について
説明者	総務部長    総務部参事    職員課長

## **協議経過**

鈴木委員長が開会を宣告し、会議成立宣言後、直ちに議事に入り、「令和3年度職員採用について」、当局から説明を受け、質疑の後、聞き置くこととし、協議会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前10時06分

### ◎鈴木豊司委員長

ただいまから総務政策委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

本日御協議願いを願います案件は、報告案件として「令和3年度職員採用について」であります。

議事の進め方につきましては委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎鈴木豊司委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

## **【令和3年度職員採用について】**

### ◎鈴木豊司委員長

それでは「令和3年度職員採用について」、当局から報告をお願いいたします。

総務部長。

### ●江原総務部長

本日は、委員会終了後、協議会をお開きいただきまして誠にありがとうございます。

案件につきましては、ただいま委員長御案内のとおりでございます。それでは担当課長から御説明申し上げますので、よろしく御説明申し上げます。

### ◎鈴木豊司委員長

職員課長。

### ●上田職員課長

それでは「令和3年度職員採用について」御説明申し上げます。

配付資料を御覧いただきたいと存じます。

職員の採用につきましては、「伊勢市職員の定員管理の基本的な考え方」を定員管理の基本としながら、令和2年度中の退職者数を考慮して、令和3年度の採用者数を決定しております。

1の伊勢市職員採用予定者数でございますが、表は消防・病院採用を除く令和2年度における退職者数の見込みと令和3年度の採用予定者数を職種別に記載したものでございま

す。

退職者数は計25人で、表の欄外に記載のとおり14人の定年退職のほか、早期退職希望者10人、普通退職者1人を見込んでおります。

それに対して23人の採用を予定しております。

採用予定者の職種別の内訳でございますが、事務職が12人、うち若干名は就職氷河期世代を対象とした採用を考えております。続いて、技術職の土木が2人、建築が1人、電気が1人でございます。電気技術職については昨年度採用できなかった分の採用を考えております。栄養士が1人、保健師が1人、保健師につきましては、児童虐待等の相談件数の増加に伴い虐待防止体制の強化を図るため、1人増員したいと考えております。続きまして、保育士・教諭が2人、技能労務職の業務員が1人、水道技能につきましては上下水道部において2人の採用を予定しております。

なお、採用試験における年齢要件につきましては、事務職の就職氷河期世代を対象とした試験につきましては、対象年齢を35歳から50歳までと考えております。その他の職種につきましては、令和元年度実施の採用試験と同様34歳までと考えております。

次に、2の消防職員採用予定者数でございますが、消防職員につきましては令和3年度に2人の採用を予定しております。これは、今年度の早期退職希望者1人と令和元年度における普通退職者1人の計2人の欠員補充でございます。2人のうち1人は、救急救命士を採用したいと考えており、採用試験における年齢要件につきましては、例年同様29歳までと考えております。

なお、募集人数につきましては、すべての職種におきまして普通退職者の増加等による不測の事態も考えられますことから、それぞれ何人程度としたいと考えております。

以上、「令和3年度職員採用について」の御説明とさせていただきます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

◎鈴木豊司委員長

本件は報告案件でございますが、特に発言がございましたらお願いをいたします。  
西山委員。

○西山則夫委員

すみません、二つほど、ちょっと経過なりをお聞かせをいただきたいのですが、事務職の中ですね、就職氷河期世代を若干名ということで、今までにない扱いになっていることについて、少し経過等の説明をいただければと思います。

◎鈴木豊司委員長

職員課長。

●上田職員課長

今回、就職氷河期世代を採用することになった経過ということでございますが、就職氷河期世代の方々というのは不本意ながら不安定な就職とか無職の状態になるなど、さまざまな課題に直面をしております。

国といたしましても、将来の社会全体のかかわる問題として、支援プログラム等を取りまとめて集中的に支援を取り組むという方針のほうを出しております。

伊勢市におきましても、就職氷河期世代支援の観点から、意欲・能力を生かして活躍する場を設けるとともにですね、その方々のこれまでの仕事上の経験、それから就職活動等で苦勞しながら取り組んできたこと、こういうことを伊勢市の行政に生かしてもらうことができるかと考え、今回の募集に至った次第でございます。

◎鈴木豊司委員長  
西山委員。

○西山則夫委員

国ですね、支援プログラムということで、当市もそのことに踏み切っていくということで理解をさせていただくんですが、先ほど説明がありましたように、35歳から50歳までということですか、年齢層がかなり限られたところで、数年前から就職氷河期世代の仕事のあり方、就職のあり方というのが問題になってきておるのは理解をしておりますけど、今年度初めてこういうことが提起をされまして、当市として、この扱いをどれぐらいまで継続をしていく考えがあるのか、いや今年度限りなんかということなんかも含めて、少し先の考え方を聞かしていただきたいと思います。

◎鈴木豊司委員長  
職員課長。

●上田職員課長

委員仰せのとおり、今回初めての試みでございます。今回、この試験のほうをさせていただきまして、まず状況のほうを検証させていただきまして、来年度の採用試験、退職者数、いろいろ考えながら、また来年度は、今回の結果を検証しながらしていきたいと考えております。

◎鈴木豊司委員長  
西山委員。

○西山則夫委員

はい、ありがとうございます。初めてのことであって、対象が限られているということで、今年度実施してみなければ分からない状況があるんで、それだけ応募があるかどうか私も予測できませんけれども、ぜひ今年度やるにしても検証しながらですね、またその時期に合わせて提案をするなら提案するというところで理解をさせていただきたいと思います。

もう1点はですね、これまで、こういう計画の中には必ず障がい者枠というんですか、障がい者雇用というのをかなり市としても意識をして出されてきたという経過があるんですが、来年度職員採用の考え方について、ここのところがないもんですから、少しその経

緯とか今の実態をですね、伊勢市のそういったものについてお答えをいただけますか。

◎鈴木豊司委員長

職員課長。

●上田職員課長

伊勢市におきまして、令和2年6月現在につきまして、法定雇用率2.5%というのがございますけども、それを今上回っておる状況でございます。

法定雇用の対象となる人数には、正規の職員、それから再任用職員、会計年度任用職員も含まれて、さまざまな任用方法がある中で、今回の募集には至りませんでした。

しかしながら、いずれにしましても障がいのある方の雇用機会の拡大、これを推進するとともに、同時に法定雇用率、これを下回らないように採用に努めてまいりたいと考えております。

◎鈴木豊司委員長

西山委員。

○西山則夫委員

今、法定雇用率2.5%をクリアしておるとい実態でいいんですかね。それちょっと数字的に教えてくれませんか。

◎鈴木豊司委員長

職員課長。

●上田職員課長

令和2年6月現在、2.6%となっております。

◎鈴木豊司委員長

西山委員。

○西山則夫委員

以前に比べるとですね、雇用率は少しながら上昇してきとるということは理解をさせていただいてるんですが、やはり分母とかによってね、分子と分母の関係でいくと、やはり障がい者の方が辞められるということになると、一気に雇用率の数字が変わってくるということもありますんで、これは今、少し雇用率をクリアしておるといことで理解をさせていただきますけども、やはりこの点については、これまで議論をしてきましたように、その時期時期に応じてきちとですね、障がい者の雇用を行政の責任としてもやっていく必要があるというふうに思いますので、ぜひそういう観点で取り組まれていくようにちょっと要望だけしときたいと思います。

◎鈴木豊司委員長

他にございませんか。

品川委員。

○品川幸久委員

就職氷河期世代ということで理解はするわけなんですけど、国体があるので職員は結構たくさん採ってきたと思うんですね。国体がなくなったらそこんところで、いろんなところに散っていくというふうなところで、バランスのことも考えておられるのかどうかだけお聞きしたいと思います。

◎鈴木豊司委員長

職員課長。

●上田職員課長

国体後の採用の関係ということですが、確かにですね、委員仰せのとおり一時期、職員数につきましては増加するというところもあるかと思いますが、国体終了後のですね、職員採用の部分では退職者数、そういうの見込みながら採用の抑制、こういうのを図っていきたいと考えております。

◎鈴木豊司委員長

他にございませんか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

他に御発言もないようでございますので、本件につきましてはこの程度で終わります。

以上で、本日御協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして総務政策委員協議会を閉会いたします。

閉会 午前10時17分